

風聞録

ざい

かい



丹治一郎会長

は、
「お陰様で、
昨年以上の参
加者に集まっ
て頂きまし

過去最高の1万8435チームが参加
した。加藤喜芳常務理事兼事務局長
が話すように、昨年の1万7340
チームから1095チーム増えて、
過去最高の1万8435チームが参
加した。菊地俊専務理事が、
「職場の仲間や友達同士でも参加
出来るとあって、5万4000人以上
のドライバーが参加してくれました。
自分が違反すると仲間にも迷惑を掛
けるようになるので、ドライバーの交
通安全の意識も自然と高まります」
と語るように今回のキャンペーン
は3人で1チームを作り、チーム単
位で7月1日から12月31日までの期
間、無事故・無違反にチャレンジす
る事業だ。キャンペーン期間中、無
事故・無違反を達成したチームには
全員に記念品が贈呈される。また、
ベストドライバー賞の3組には30万
円の旅行券が贈呈されるほか、豪華
商品も用意されている。

「今回のセーフティチャレンジをき
っかけに更に交通事故件数が減少し
てくれればと願っています。今回、参
加出来なかった人も来年以降も実施
しますので、ぜひ参加してください」
と交通事故撲滅を呼び掛ける丹

治一郎会長。今回、間に合わなかつ
たドライバーもぜひ、次の機会に参
加してみては。

伊達市の桃の葉の保湿成分を配合
肌悩みを抱える人の
基礎化粧品「セルフイ」

（株）ダーマルラボ（本社・伊達市、
池田順子社長）では、同社のスキン
ケア商品「CELLPHY（セルフ
イ）」に今秋から伊達市の桃の葉の
保湿成分を配合する。

「既に、地元農家の協力を得て2
年前から開発に取り組んできまし



伊達市の桃の葉が使われる「CELLPHY」

た。伊達市の桃の葉を使うことで話題になるのではと期待しています。地元へ貢献出来ればいいですね」

と池田社長。

この商品は、もともと敏感肌や乾燥肌など、肌に悩みを抱える人やエイジングケアを考える人に向けて、皮膚の専門家が原材料にこだわり開発したメデイカルスキンケア製品。使用した人のリピート率は高く、口コミでも広がっているという。

また、同社のサロンではこの商品を使用し、細胞まで必要な成分を浸透させていく。

「美容を身近にしてもらいたい」

という思いから、料金もフェイシャルコースが3000円、ボディコースが5000円とリーズナブル。肌の悩みは専門のスタッフに相談出来、月に1度だけでも効果があるとか。商品・サロンに関する問い合わせ、またサロンの予約は電話(024・574・2112)で。

女性パワーで地域活性化を!

あぶくま高原道路沿いの
グルメマップが大好評

「あぶくまおしゃべり女性の会」

(阿部君江代表) によるグルメマップ『おしゃべりあぶくま』が8月6日、発行された。

同会は、あぶくま高原道路沿線の自治体(矢吹町、玉川村、石川町、平田村、小野町)から推薦された女性による会で、今回の同誌は地域振興に熱心な女性たちによって作られた。福島県地域づくり総合支援事業補助金活用事業となっている。阿部代表は、

「女性は食えることが好きなので、よく地元のおいしいものを持ち寄ってお茶飲みをしていました。道路が出来ることでお互いの地域が近くなるから、グルメマップを作ったら面白いのではないか、ということがきっかけでスタートしました」

と企画経緯を語る。同誌はフリーペーパーであり、沿線の町村ごとにお勧めの食堂や菓子店などが掲載されている。設置場所は各行政機関や県内にある道の駅、沿線のIC付近にあるコンビニエンスストアなどだが、既に品薄の状態。この反響に、福島県あぶくま高原自動車道建設事務所の白石正俊建設課主任は、



おしゃべり女性の会の阿部君江代表(右)と草野紀副代表

「我々は道路を造ることが仕事で、地域振興となると難しいところがありますが、『女性の会』の方々が積極的に進めてくれています」

と語る。女性パワーが地域活性化に一役買っており、あぶくま高原道路の利用促進を願う同事務所にとつて、最強の味方というわけだ。阿部代表は、

「次は沿線の直売所を紹介する情報誌を企画しています。とにかく、いまは来年度に予定されているあぶくま高原道路の全線開通が待ち遠しい」

快適環境をクリエイト

 吉川建材産業株式会社

〒965-0024 会津若松市白虎町7番地1
TEL (0242) 25-2321(代) FAX (0242) 24-3046